

活動を通しての提言

- 観光スポットを増やしたいから、滝に行くまでの道の整備、川の漂流物をなくしてほしい。
- 多久には聖廟や西溪公園、たくさんの自然があふれている。それにも関わらず、多久への観光客が少ないので、観光ルートマップを作してほしい。
- 多久には名所が多くあるので、それを生かすために観光ルートマップを作してほしい。

ぼくたちが考えた多久のよかとこめぐり ①

市立病院 → 西溪公園 → 八幡神社 → 多久聖廟 → 深草園 → 多久饅頭 → 市立病院

ぼくたちが考えた多久のよかとこめぐり ②

多久聖廟 → 深草園 → 八幡神社 → 西溪公園 → 多久饅頭 → 市立病院

- ポイ捨ての現状を知ってもらうために、多久市ゴミ拾いの日を作してほしい。

不法投棄を改善したいという思いを込めて作った看板のデザイン



- 高齢者や子どもがよく通る小道や団地などで車の徐行などを、呼びかけてほしい。
- イノシシが多いので、イノシシ狩りをしてほしい。
- 多久には暗くて事故が起こりそうな場所がたくさんあるので、街灯を設置してほしい。

担任の先生から



◀左から
牟田久美子先生
納富 康賞先生
吉山 里子先生

2年生の地域学習で、地域を改めて知り、人々の温かさに触れるなかで、生徒たちは多久の良さを発見しました。3年生になった今年度は、多久町をさらに良くするため、自分たちにできることはないかと考え行動しました。

自分の住む町を誇りに思い、それを良くするには自分たちが行動を起こさなくてはならないと意識が高まったことが、この活動の成果です。

4班 ポイ捨てNG!!

不法投棄されているゴミが増えているので、環境について考えました。自分たちが住んでいる多久町を、自分たちの手できれいにしたいと思ったからです。クラスへのアンケートや、みかん農園の人にインタビューを行い、実際に天ヶ瀬ダムまでゴミ拾いに行き、ゴミ分析もしました。

人に見えない山の斜面、溝などに、家電製品や粗大ゴミを捨てに来る人がいるし、タバコや、紙くずも多く、大人のゴミに対しての意識が低いことがわかりました。地域のボランティア活動を積極的に行い、改善していくことが必要。自分たちの町は、自分たちできれいにしていきたいです。



ゴミの現状について、市長さんに知ってもらえたし、市長さんも同じように考えてくれたので良かった。

5班 危険さがし隊(多久町) 6班 西多久の危険

5・6班は、登下校などで道が狭くて、ダンプやトラックにぶつかりそうになったり、雨のとき土砂崩れの危険があるなど、高齢者も同じように感じていると思い、危険なところを調べ多久の平和を守っていかうと考えました。

多久町・西多久町の危険なところを探し、インタビューしてまとめました。

5班 宮ノ浦・東の原・下鶴・明治佐賀・東町・西町などで現地調査をしました。「交通量がとても多くトラックなどの大型車両がよく通るので危険。街灯をつけて、通学路を広くしてほしい」、「歩道が狭く、登下校で追い抜くときに、とても危険。歩道もないところもある。近く的高速道路の下のトンネルは、街灯もなく夜になると不審者がいる」などの意見がありました。

6班 「西多久は、街灯がなく夜暗くて危険」、「道がわからなかったり溝に落ちたりする」、「車がすごいスピードで走り危ないので、警察の取締りを強化してもらいたい」、「イノシシが出没するので危険」などの意見がありました。

- 5班 とても緊張しましたが、でも楽しかったです。
- 6班 自分たちの思いを理解してもらったのでよかった。



7班 多久町の街灯について

街灯が少ないことで、「いつどこでどのような危険があるか」を調査して危険をなくそうと思いました。西溪中の生徒にアンケート調査をし、多久町9か所・西多久2か所で現地調査。現状を確認して、周辺の住民に意見を聞きました。

「森の近くや路地を中心に街灯が少ない所がある」、「夜、車が来ていることに気づかず事故が起こる可能性があり街灯をつけてほしい」、「街灯は、黄色の光より白色の光の方が見やすい」などの意見がありました。



自分たちの作成した資料を受け取ってもらったり、自分の意見を述べることでできてよかった。